

# 中村橋駅周辺まちづくり検討会

## 第2回駅周辺まちづくり部会 議事要旨

[日 時]

令和4年12月14日（水）18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一・第二

[出席者]

部会長 杉崎（学識経験者）

委員 山本（学識経験者）、江村（商店会）、関口（商店会）、内田（商店会）、  
野島（町会 神藤氏代理）、海老名（学校）

オブザーバー 荻原（専門調査員）

[事務局]

美術館再整備まちづくり担当課 竹内、松本、中山、納谷

美術館再整備担当課 稲永、末田、竹清

[傍聴者] 0名

[議事次第]

1. 開会  
部会の進め方の確認
2. 議題
  - (1) アンケートの概要について
  - (2) 中村橋の特徴
  - (3) 「まちの将来像」の検討
  - (4) 検討すべき課題の整理
3. その他

[配布資料]

- ・資料1 駅周辺まちづくり部会の進め方イメージ
- ・資料2 まちづくりアンケート調査結果報告書
- ・資料3 中村橋の特徴
- ・資料4-1 「まちの将来像」の検討
- ・資料4-2 時点ごとの「まちの将来像」の検討
- ・資料5 中村橋駅周辺まちづくりにおける課題

## 1. 開会

- ・部会長の挨拶を行った後、プログラムに沿って議事を進めた。

### 部会の進め方の確認

- ・事務局から資料1の説明。

部会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・前は、事務局から今までに一度は検討した課題や新しい課題、将来像などについて提示してもらい、それを元に議論した。</li><li>・本日は、今後「検討すべき課題の整理」について議論したい。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度は、資料1に記載のある「『まちの将来像』実現のため解決すべき課題の抽出」まで進めることを考えている。</li><li>・事務局から部会へ「まちの将来像」や課題を提案し、ご意見をいただきながらまとめていきたい。</li></ul>

## 2. 議題

### (1) アンケートの概要について

- ・事務局から資料2の説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・8月に実施した「まちづくりアンケート調査結果報告書」(以下、「アンケート調査結果」)について。回収ボックスによる調査票の回収とインターネットによる電子回答による回収数は344件。以下、回答内容の概要である。</li><li>・中村橋駅周辺の印象については、「商店街があり飲食や買い物がしやすい」「駅周辺で賑わいを感じられる」「公共施設の周辺など緑や樹木が多く感じられる」のいずれの項目も、7～8割の方から印象が「ある」と回答されている。</li><li>・中杉通り沿道および千川通り沿道の商店街の利用頻度については、全体の4割強の方が「よく利用する」と回答されている。</li><li>・主にどのエリアの商店街を利用されるかについては、全体の8割弱の方が「千川通り北側の中杉通り沿道エリア」と回答されている。</li><li>・駅周辺のバス交通については、3割強の方が「現状で利便性が高い」と回答されているが、4割弱の方が「バスルートに改善すべきところがある」「バス停の位置に改善すべきところがある」と回答されている。</li><li>・中村橋駅周辺の道路整備状況については、3割強の方が「十分整備されている」と回答されているが、4割の方が「改善が必要な箇所がある」と回答されている。</li><li>・これまで練馬区立美術館を利用したことがあるかについては、5割の方が</li></ul>
-----	--

部会長	<p>「1回～数回はある」と回答されており、高齢者になるほどよく利用されている傾向がうかがえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中村橋駅周辺には「美術館のあるまち」というイメージがあるかについては、「ある」55%、「ない」45%である。</li> <li>・自由意見など様々なご意見をいただいております、これらの意見を踏まえ、今後の検討に活かしていきたいと考えています。</li> <li>・自由意見などの中に、今後のまちづくりに活かしていく上で大事な内容があると思われるので、検討の参考にしていただきたい。</li> </ul>
-----	--

## (2) 中村橋の特徴

- ・事務局から資料3の説明。

部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回、委員の方から、課題解決を前提としたまちづくりだけではなく、良い部分や魅力のある部分をどう活かしていくかも大事な視点であるのご意見をいただいた。例えば、千川通りの桜並木はまちの資産であるなど。その視点を踏まえ、事務局側で資料を作成していただいた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果の自由意見などから、中村橋に関して良い部分に言及している意見について、資料としてまとめた。</li> <li>・「まちの印象」については、千川通りの桜並木がとても綺麗である、公共施設や商店街が近くにあり暮らしやすい、若者の多いまちであるなど。</li> <li>・「商店街」については、商店街として昔ながらの良さがあるなど。</li> <li>・「道路、交通」については、電車やバスの利便性は高いなど。</li> <li>・「美術館周辺」については、美術館が中村橋のシンボルとなっている、緑地は動物の美術作品があり、子どもの遊び場になっているのが良いなど。</li> <li>・また、中村橋の活かすべき特徴について、①中杉通り、②千川通り、③補助133号線、④公共施設、⑤住環境の5つで整理した。これらの特徴を踏まえて、以降はエリアごとの将来像を描き、課題を解決していきたい。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当資料のみをもってエリア毎の将来像を描くのは難しいと思われる。アンケート調査結果の自由意見の内容は、特に大事、まあまあ大事など濃淡があるため、精査することが考えられる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常のまちづくりのアンケートと比べて、アンケート調査の回収はポスティング2,143件に対して回答数344件と回答率は高く、比較的多くの方からご回答いただいた。回答者の年齢層は幅広く、多くの方に関心を持っていただいた。自由意見などの回答は、良い印象の内容が比較的多いように感じられた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、課題を踏まえつつ、良い部分などの特徴も一緒に検討していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査結果の質問「主にどのエリアの商店街を利用されますか」に対し、「千川通り南側の中杉通り沿道エリア」と回答した方は約2割と少なく残念である。</li> <li>・ 商店街の店舗数は減っている。自身で商売している方は40数軒と当初に比べ減っており、大半の方は自身の店舗を閉じ、建物下層部分をテナントとして、チェーン店などへ貸している。</li> <li>・ 千川通りから北側の商店街と南側の商店街では、それぞれ業種が異なり、北側の方は飲食店が多い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千川通りから南側の商店街は、現在、バスや自動車の通行が多く歩行者にとっては歩きにくい状況である。補助133号線が整備され、バスルートが補助133号線側へ移れば歩きやすい商店街になる。それにより新しい店舗の出店も期待できる。</li> <li>・ 商店街を形成する中杉通りは都道であり、補助133号線の完成後に、都道から区道へ移管すると聞いている。例えば、補助133号線の整備が終わった千川通りから目白通りの区間に対し、千川通り北側の中杉通りを先行して区道へ変更することは考えられないか。</li> </ul>

### (3) 「まちの将来像」の検討

- ・ 事務局から資料4-1、4-2の説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エリア毎の将来像について。資料は前回提示したものを修正した内容である。</li> <li>・ 前回からの変更部分は、「中杉通りエリア」については、「買い物を楽しめる通りを目指します」から、買い物に限定しない「活気生まれる通りを目指します」に変更した。「千川通りエリア」については、桜並木などがある現状を大切にしていく視点から、5つ目のエリアの将来像として追記した。</li> <li>・ 前回、時間軸が解かり難いのご意見をいただいた。それを踏まえ、エリア毎にポイントとなる時点を設定し、その時点で想定されることやそれまでに検討することなどを整理した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「美術館周辺エリア」は、令和9年度に美術館がリニューアルオープンする。検討会では、令和5年度中に将来像実現に向けた方針を検討し、年度末には「美術のまち構想」を策定。それ以降は構想の取組を実施していく。</li> <li>○ 「千川通り南133沿道エリア」は、補助133号線南側が整備される時点を令和19年度と設定した（想定の根拠は、既に開通した133の事業認可から</li> </ul> </li> </ul>
-----	---



事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部会は、来年度以降も引き続き行う予定であり、来年度はそれぞれの課題についての深堀の検討を考えている。その課題の検討の中で色々のご意見をいただきたい。</li> </ul>

#### (4) 検討すべき課題の整理

- ・事務局から資料5の説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア毎の将来像に対する、前回提示した本資料の課題①～⑩と、考えられる検討事項（案）は以下のとおり。</li> <li>・「美術館周辺エリア」については、⑨美術館・商店街・駅をつなぐ動線を一体的な景観として演出、⑩商店街等と連携したイベントや活動の実施など。</li> <li>・「千川通り南133沿道エリア」については、②補助133号線(千川通り南側)整備後の沿線のまちづくり、⑦補助133号線整備後のバス路線再編など。</li> <li>・「目白通り北133沿道エリア」については、①補助133号線(目白通り北側)整備後の沿線まちづくり、③中村橋のまちの魅力向上につながる連携の検討など。</li> <li>・「中杉通り沿道エリア」については、⑤中杉通り(千川通り北側)の整備、⑥中杉通り(千川通り南側)の整備など。</li> <li>・「千川通り沿道エリア」については、現時点では課題を整理していない。</li> <li>・上記から外れた、④西武池袋線北側沿線道路の整備、⑧タクシー等の乗降場の整備についても何らか検討を行いたい。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業的な内容である資料5「中村橋駅周辺まちづくりにおける課題」と、資料4-1「『まちの将来像』の検討」を、合わせて整理するのが良いと思われる。なお、事業的な視点でない課題についても整理することが大事である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、郵送で頂いた資料（第1回美術のまち部会の資料2-2「アートを感じられるまちなみの整備の提案」）は、写真などで具体的に提案されており、大変分かりやすい資料であった。具体的にイメージできると意見が言いやすい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず留意事項として、20 数年後についての検討であること。</li> <li>・地域から見て“面”として目指す姿を考えておきたい。</li> <li>・練馬区立美術館の周辺には公益施設が集積している。高齢化により中村橋福祉ケアセンター、中村橋地域包括支援センターなどは、今後、需要が増えていく。中村橋区民センターや練馬第三小学校などの区立施設は、練馬区が定める「区立施設マネジメント」により、順次改修などを進めるとしている。隣接する都営貫井一丁目アパートの建替なども考えられる。まちづくりへの協力は、民間事業からは受け難いが、公益事業からは受けやすい。公益施設の集積した本地区において、公共施設とまちづくりをどう関連づけていくのかは、地域の方からの関心が高いと思われる。</li> <li>・貫井二丁目にある広い個人宅の既存樹木などは、まちの記憶として非常に重要なものである。まちの将来像の議論では、まちの大事なものに視点を当て、守っていくもの、味付けするものなどの議論をするのが良い。</li> <li>・民間事業の動きは、行政側で誘導しにくいものである。補助 133 号線が整備されると、沿道に飲食・小売企業などのナショナルチェーンが入ってくるため、中杉通り商店街との競合関係になると思われる。</li> <li>・美術館リニューアルをふまえ美術館と駅の間部分を基点に何か考えていく場合、アクションが面白いとなれば、そこから周辺へ広がっていく。現在、駅前には地元の方が昔から家族経営するカフェなどがあるが、そのような洒落た小さなカフェなどが住宅地の中にぽつぽつ出てきたり、中杉通りを軸として、新しい店舗を開く若い人などが集まってくるかもしれない。美術館と連携したイベントの誘致なども考えられる。それらをどう誘導していくかである。</li> <li>・まちづくりでは行政側のプロジェクトの影響が大きいが、一方、地元や商店街の対応も大切である。本検討会は貴重な機会であり地元としての対応も議論をしておきたい。</li> <li>・以上までは仮定の話である。本部会の目的は、このような共通事項を拾い上げることである。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりのよい機会ととらえていただき、本部会では詳細な部分も含めてご意見を頂きたい。</li> <li>・ご指摘いただいた周辺の公益施設も含めて考えていきたい。参考までに周辺の公共施設の状況であるが、現在の計画は、サンライフ練馬 東京中高年齢労働者福祉センターの機能を、中村橋区民センターとリニューアルする美術館に移転させる予定である。令和 6、7 年度に中村橋区民センターの改修工事を行い、その後に現美術館とサンライフ練馬を除却し、新美術館の再整備を行う予定である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つい先日、美術館設計者のプロポーザルが終了し、来年 1 月ごろには設計者が決まる。今後、美術館設計が進めば、周辺からのアプローチや、まちとの関係性などが具体的になってくると思われる。</li> </ul>

部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「駅周辺まちづくり構想」策定は、どの程度の内容まで決めるのか。例えば、方針のような内容に留めるのか、または具体的な内容まで記載するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「美術館周辺エリア」以外は、15～20年後の事項であるため、あまり具体的な内容を今から決めることは考えていない。エリア毎に方針を定めるイメージである。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア毎の方針までを定める「駅周辺まちづくり構想」を策定するにしても、具体的な検討は必要と思われる。議論の中で、自然に課題や方向性などが出てくるような部会としたい。</li> <li>・例えば、道路整備により沿道や後背市街地の土地利用はどう変化するのかをシミュレーションすることなどが考えられる。そのようなスケール感で一度検討してみてはどうか。</li> <li>・地域の皆さんがお持ちの情報を確認しつつ具体的な議論をするため、委員全員で大きな地図を囲みながら議論することが考えられる。例えば、この道は狭くて車が入れないが、ここに道路ができれば、ここがこう変わりそうであるなど。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「駅周辺まちづくり部会の進め方イメージ」により検討のスケジュールを示したが、皆さんのご意見を踏まえ、対応していきたい。</li> </ul>

### 3. その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項について。</li> <li>・次回の駅周辺まちづくり部会は、来年度の開催となる。</li> <li>・4～5月頃に全体会の開催を予定している。日程が決まり次第ご連絡する。</li> <li>・美術のまち部会については、2月下旬に第2回の開催を予定している。</li> </ul>
-----	--

以上